



10月に入りました 今年度の「折り返し地点」にあたって

9/29(月)の全校朝礼では、こんな話をしました。

- ・ 半年後の自分をイメージしよう。目標とする「こうありたい」自分とは？
- ・ 「**目標**」マイナス「**現状**」イコール「**課題**」！
この公式で**重要なのは、自分の現状を正しく把握すること**。現状認識を誤ると、自分が取り組むべき課題までも見当違いのものになってしまう。
- ・ 現状把握を誤らないためには、「**自分を客観的に見る**」ことが**大事**。
- ・ 特に、三年生へ。視野が狭くなってはいないか。今の自分を正しく捉え、受験本番に向けて何に磨きをかけるのか、面接本番までに何をアピールできるようにするのか。
- ・ 文化祭についても同じようなことが言えると思う。自分主体の目線ではなく、多くの人に楽しんでもらえる、満足してもらえるものにするためにはどうしたらよいか考えよう。

10月1日(水) ビブリオバトルガイダンスを実施しました



水曜6限のロングホームルームは、全学年、体育館に集まり合同で実施しました。

ビブリオバトルとは、おススメの本を紹介しあって、参加者全員の中から「チャンプ本」を決定する「書評合戦ゲーム」です。本を介してコミュニケーションを深め、読書への関心を高めることができます。近年、ビブリオバトルは全国的に普及されており、本校でも読書指導の一環として毎年実施しています。

さて、ガイダンスということなので、誰かが生徒にお手本を示さなければなりません。そこで、示範したのは、数学のI先生、地歴のK先生、そして校長の私。例年、新任職員がその任に当たるとのことです……。本を紹介するのは5分間。時間超過もダメ、時間を余らせてもダメというルールです。また、紹介の後は質疑応答の時間も設けられており、通常は3分程度なのですが、今回は特別ルールとして「時間無制限」という設定！

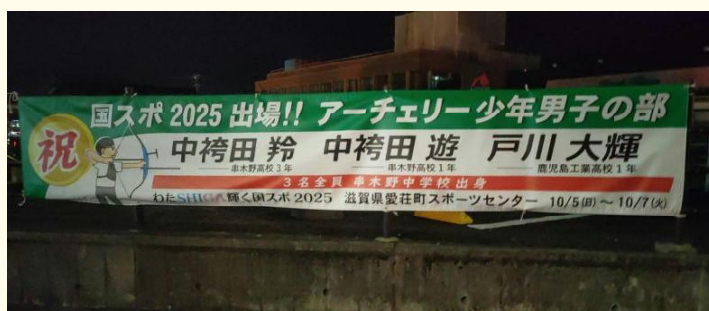
私が紹介したおススメの本は、向田邦子のエッセイ集『父の詫び状』。昭和の家族の日常が、筆者の記憶力、微細な観察力とユーモアを含めた表現力とが相まって、映像的に伝わってくるのは、まさに天才、職人芸。こんなエッセイは他にはないと……そんな感じで紹介しました。

私はエッセイを紹介しましたが、他の二人の先生方が紹介したのは実用書、小説。ジャンルはそれぞれでしたが、3人とも質疑応答では多くの生徒からの質問攻めに。生徒と本を介して、対話するという貴重な経験でした。生徒たちには、まずは本を手にとってほしいです。

アーチェリー部が国スポ、九州新人大会へ

- ・国スポ少年男子 5日(日)～ 於 滋賀県
県代表として、中袴田鈴君(3年)、中袴田遊君(1年)と鹿工の生徒による3人チーム(全員、串中出身)での出場です。
- ・九州新人大会 11日(土)～ 於北九州市
中袴田遊君、本田君(2年 紫原中出身)が個人戦に出場します。

コンディションを整えて、善戦することを期待します。



↑Aコープ前交差点に掲示されています。